

授業科目名・形態	研究方法論Ⅰ	講義	必修・選択の別	必修
担当者氏名	佐藤純子・水木暢子・岩間薫・黒澤蒔子	開講期	3年前期	単位数 1

【授業の主題】

看護における研究は、より質の高い看護ができるよう、新たな専門的知識・技術を創造し開発していくために重要である。したがって、看護研究の基本的概念や研究方法等を具体的に理解することは、看護教育においては極めて大切なことである。

【到達目標】

1. 研究の意味を理解する。
2. 研究における倫理的配慮について理解する。
3. 看護研究実践のための研究課題の発見の仕方、文献検索、研究計画の立て方、データの収集・分析、研究発表、論文のまとめ方、研究のクリティークに至る一連の研究過程を理解する。

【授業計画・内容】

第1回	研究の意味・研究と倫理的配慮	(水木暢子)
第2回	研究課題の発見・文献検討	(佐藤純子)
第3回	研究計画の立て方	(佐藤純子)
第4回	研究方法	(黒澤蒔子)
第5回	データの収集と分析① 量的データ	(黒澤蒔子)
第6回	データの収集と分析② 質的データ	(水木暢子)
第7回	論文構成とまとめ方・学会発表の仕方	(岩間 薫)
第8回	研究のクリティーク	(岩間 薫)

【授業実施方法】

講義・演習

【授業準備】

一連の研究過程の理解を深めるため、また研究課題を発見できるようにするため、復習して、次回授業に備える。

【主な関連する科目】

研究方法論Ⅱ、統計学、保健統計学（選択）、看護研究、臨地実習

【教科書等】

黒田裕子：黒田裕子の看護研究 Step by Step、第5版、医学書院、2017.

【参考文献】

1. ホロウェイ、ウイラー、野口美和子監訳：ナースのための質的研究入門 研究方法から論文作成まで、第2版、医学書院、2006.
2. D. F. ポーリット、B. P. ハングラー、近藤潤子監訳：看護研究 原理と方法、第2版、医学書院、2010.
3. 小笠原知枝・松本光子編：これからの看護研究 基礎と応用、第3版、ヌーヴェルヒロカワ、2012.
4. N. バーンズ、S. K. グローブ、黒田裕子・中木高夫・逸見功監訳：バーンズ&グローブ 看護研究入門 評価・活用・エビデンスの生成、エンゼビア・ジャパン、2015.
5. 南裕子・野嶋佐由美編：看護における研究、第2版、日本看護協会出版会、2017.
6. 川村佐和子：ナースング・グラフィカ 基礎看護学④ 看護研究、第3版、メディカ出版、2017.

【成績評価方法】

課題レポート 90%、授業への取り組み姿勢・提出物等 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

看護職を専門職として遂行していくためには、研究は欠かせないものです。ここで、看護研究の方法とともに、研究の倫理的配慮等についてもしっかりと学んでいきましょう。